

# 巻 頭 言

教養部長 酒 井 正 志

中京大学教養部では2003年4月に新しい教養改革カリキュラムを全学一斉に導入しました。この1年間、教養部は新たなカリキュラムに従って教養教育を展開すると同時に、「将来計画委員会・カリキュラム改革部会」を中心に、全学的な「授業時間割編成委員会」と連携して時間割を再編成し、2004年度には新しい四年一貫・学舎共通開講方式の教育体制を確立しました。長い時間をかけて作り上げたカリキュラムを学生が履修する際に、不都合が生じないようにするための努力だったとおもいます。この間の活動記録をここに残しておきます。

「将来計画委員会・教育部会」では、教育改革の成果を検証すべく、手始めに、オフィス・アワーや、セメスター制に関するアンケートを実施しました。全学的に初めて実施された「授業改善のためのアンケート」とともに、その分析結果の活用が大いに期待されます。「教育部会」はFD活動にも積極的に取り組んできました。その一環として、第4回「よりよい授業をめざして一経験交流会」をFD小委員会との共催で開催しました。今回は他学部からの協力をえて、「魅力あるゼミづくり」をテーマとしました。どのようにゼミを運営して学生をひきつけるか、是非、ご一読ください。精神科医香山リカ氏(神戸芸術工科大学助教授・当時)による講演会「自己肯定感を育てるためにー教養教育と情報化社会」も開催しました。日々私たちが接している学生たちを精神科医がどのようにみているか。大変参考になります。講演をそのまま再録しました。

「基礎ゼミ」は教養改革を担う重要な科目の一つです。教養部の教育改革への志向は、「教養改革としての基礎ゼミの授業方法改善」として、文部科学省の「特色ある教育支援プログラム」への申請へとつながっていきました。残念ながら採用には至りませんでした。教養部が何をめざそうとしたのか、その記録としてここに掲載しておきます。

今年度もさらなる教養改革をめざして、一人一人の教員が、一つ一つの組織が、歩み始めています。この歩みが豊かな実りをもたらすことを心から願っています。

2004年5月27日